

日頃より北陸労働金庫に対しまして格別のご支援  
とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、2024年1月に発災した令和6年能登半島地  
震から1年半、9月の奥能登豪雨から10カ月経過しま  
した。お亡くなりになられた方々にお悔やみ申し上げ  
ますとともに、被災された方々にお見舞い申し上げま  
す。今後も被災された方々に寄り添い、弊庫らしい先  
を見据えた復興支援に努めてまいります。

わが国の経済は、自然災害や自動車工場稼働停止  
等により停滞感が強かったものの、緩やかな回復の動  
きが見られました。マイナス金利が解除され、日経平  
均株価は史上最高値を更新し、公示地価上昇率や春  
闘賃上げ率はバブル期以来の伸びを記録する等、幅  
広い分野でインフレ経済への回帰が進みました。

また、北陸の経済においては、一部に能登半島地震  
の影響が見られていましたが、復旧・復興が進むにつ  
れて、個人消費、住宅建設、生産、雇用情勢は緩やか  
に回復しています。

取り巻く環境は、少子高齢化・人口減少の加速、自  
然災害の頻繁や国際情勢の悪化、そして物価上昇に  
よる家計への負担増加等、経済環境への先行きは不  
透明な状況となっています。日本銀行が政策金利を引  
き上げ「金利がある世界」へと環境が変化している中、  
幅広い分野でのデフレからの脱却が見られ、これから  
の国の政策や企業・家計への影響に注視していく必要  
があります。

2025年度は、経営環境が厳しさを増す中、“北陸労  
働金庫として在り続ける”ために、適正な収益確保が



求められており、強固な経営基盤の構築に向けて、経  
費削減・収益改善・業務改革の取り組みを継続すると  
ともに、経営の健全性を維持するため、RAF(リスクア  
ペタイト・フレームワーク)運営態勢をより堅固なもの  
とし、収益とリスクの最適なバランスの実現をめざしま  
す。

また、職員一人ひとりが心身ともに健康で働き続け  
ることができるよう、より良い職場環境の整備に向け、  
役職員等の健康増進に取り組みます。

今後も勤労者のための福祉金融機関として使命を  
果たし、役割が発揮できるよう、全力をあげて取り組  
んでまいります。

皆さまには今後とも一層のご支援とご協力を賜りま  
すようお願い申し上げます。

2025年7月

理事長 **西田 満明**

#### 当金庫の概況

(2025年3月末現在)

名称	北陸労働金庫
所在地	石川県金沢市芳斉2-15-18
設立	1954年5月1日 (2001年10月1日合併し、北陸労働金庫発足)
店舗数	25店舗(富山県8、石川県10、福井県7)
常勤役員数	473人
団体会員数	1,663会員
間接構成員数	378,738人
出資金	40億1百万円
預金残高	8,231億89百万円
貸出金残高	5,204億61百万円

#### 全国ろうきんの概況

(2025年3月末現在)

金庫数	13金庫
店舗数	588店舗
常勤役員数	11,040人
会員数	97,488会員(うち団体会員数47,052会員)
間接構成員数	12,025,461人
出資金	967億90百万円
預金残高	23兆159億円
貸出金残高	15兆9,442億円